

学校名 さいたま市立大谷場中学校
所在地 埼玉県さいたま市南区大谷場 2-13-54
電話 048-882-9962

1. 本校の概要

本校は昭和36年に開校し、今年で44年目を迎える。平成13年度に大谷場東小との小中一体型新校舎を落成し、「学校図書館資源共有型モデル地域事業実践協力校」となった。生徒は明るく素直な子が多く、保護者の期待も高い。

2. 本校の実践の概要

本校の実践の特徴

[ここに学び・ここに鍛えて]を合言葉に学校目標である[心豊かでたくましく、進んで学ぶ生徒の育成]を目指している。「本が好きな、本を読む大谷場中生になろう」の実現を目指し、実践に取り組んでいる。

朝の読書タイムの設定

毎日朝の10分間を読書タイムとして全校的に位置づけている。読書習慣を形成をする上では中心的役割を果たしている。



「めざせ1万ページ」の取組

全校で「めざせ1万ページ」の取組を行っている。学年によっては6割以上の生徒が1万ページを超えている。少しの時間を見つけては読書している生徒も多い。本の紹介活動なども行っている。

学習活動での図書館の利用と物流システムの活用

総合的な学習の時間や選択授業、各教科の授業などで、図書室を利用している。



総合的な学習の時間のテーマは、1学年は「福祉」2学年は「環境」3学年は「地域を知る」であり、特に活用の場面が多い。事前に連絡をして、司書が必要な資料をそろえたり、公立図書館や他の学校図書室から借りたりして、物流システムを活用して授業に役立てている。

いつでも使える楽しい図書室作り

月曜日から金曜日までいつでも貸し出しを行っている。小学校と中学校が連携しているので基本的にはいつも2人の司書が運営をしている。また、最新の話題の本も新刊書ですぐ読めるように努力している。そのため、いつも図書室に読みたい本を探しに来る生徒も多い。

図書館のIT化

現在小学校とあわせ9台のパソコンがおりてある。貸出し用の2台のほかに図書検索用の3台やインターネットにつないである4台があり、学習情報センターとしての機能を充実させている。小学校用のものも区別無く使えるため、何か調べたいときは図書館に来る生徒も多い。



広報宣伝活動

図書委員会発行の「大谷場中新聞」や[ライブラリー通信]などで日常的に広報活動をしている。秋の読書週間には[お勧めの1冊]という小冊子を作り、教師や図書委員の読んで欲しい本を紹介している。この冊子は全生徒に配布している。

3. 成果と今後の課題

- ・読書の冊数やページ数は増えてきたので、高品質の読書活動を目指していきたい。
- ・図書館の情報センターとしての機能を充実をさせて、家庭や地域との連携を深めたい。
- ・今後は全職員による図書室の有効利用を一層推進したい。